

| 2. 事業の概要と成果             |  |
|-------------------------|--|
| <p>(1)<br/>上位目標の達成度</p> | <p>「マンセラ郡において、教育環境整備・向上を通じ基礎教育を強化する」をプロジェクトの上位目標として掲げた。7校の校舎を再建すると同時に、教師、PTC(日本のPTAに相当)及び生徒会メンバー(計95名)に対して研修を実施し、その能力と意識の向上を図った。その他、ニュースレターを発行し、地域間の情報共有と連携を促進した。これらにより、ソフト面・ハード面の双方向から教育環境を整備・向上し、学校教育を強化することが出来た。</p>  |
| <p>(2) 事業内容</p>         | <p><b>(イ) 学校の再建</b><br/>         本事業では、パキスタン国ハイバル・パフトゥーンハー州マンセラ郡の5つの村において、2005年の震災で倒壊した公立学校のうち、non-strategy<sup>1</sup>校とされる学校の中から、女子学校4校(GGPS<sup>2</sup> Dungalā, GGPS Khachci Khaki, GGMS Junglan, GGPS Malyer Banda)と男子学校3校(GPS Narbeer, GPS Nika Pani, GPS Bhusa)の計7校の校舎を再建した。</p> <p>郡政府公認機関であるペシャワール工科大学により示された基準に則り設計図を準備し、マンセラ郡 Communication and Works Department に承認を受けた。建築仕様としては、鉄筋コンクリート、スチールメッシュ耐震補強構造となっている。耐久年数は約60年程度<sup>3</sup>で、すぐれた耐震性も実現している。</p> <p>校舎には、校門、標識、トイレ、水タンク、浄水層、擁護壁、花壇、を整備した他、教育局の基準に則った教師及び生徒用の机と椅子、資料棚等を各学校に支給した。校舎、校舎資機材および学校家具等はマンセラ郡教育局に管理が譲渡され、政府の責任において管理運営されている。移譲に際しては、郡政府と書面にて確認を行った。なお、校舎を含め、こうした提供物資が大切に使用されてゆくよう、また、生徒たちが安全に学校生活を送れるように9種類の啓発ポスターを作成し、各学校に掲示した。(ポスターの種類は“別添リスト1”参照)</p> <p><b>(ロ) 教師および保護者・父兄を対象としたセミナーの開催、生徒会の組織化</b><br/>         再建した校舎で質の高い教育を提供できるよう、支援対象校の教師、PTC及び生徒会に対して、以下の日程で研修を実施した。研修では、近代的教授法の習得、教師の意識改革や、PTCの果たすべき役割の認識、生徒の主体性の向上などを目的とした。(トピックは”別添リスト2”参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師研修：3日間×1回(2月21～23日) 参加者数24名</li> <li>・ PTC研修：2日間×1回(1月19及び20日) 参加者数33名</li> <li>・ 生徒会研修：1日×3ヶ所<sup>4</sup>(12月19、20及び21日) 参加者数計42名</li> </ul> <p>ハード面に合わせソフト面での教育環境を向上してゆくことは、包括的な学校教育の強化につながった。これはパキスタン政府の震災復興政策にも合致するものとなっている。パキスタン政府は、復興時には、建物のみならず、すべての面でより良いものへ再建してゆくという方針を掲げている<sup>5</sup></p> |

<sup>1</sup> 政府により再建予算のめどが立たない学校のこと

<sup>2</sup> GGPS=Government Girls Primary School(公立女子小学校) GPS=Government Primary School(公立男子小学校) GGMS=Government Girls Middle School(公立女子中学校)

<sup>3</sup> 修繕を加えることで半恒久的に使用する

<sup>4</sup> 12月19日：GPS Nabeer、GPS Bhussa、GGMS Junglan 12月20日：GGPS MalyarBanda、GPS KachiKaki、GGPS Dungalā  
 12月21日：GPS Nika Pani

<sup>5</sup> 政府ペーパー “Build Back Better”

|                                 | <p><b>(ハ) ニュースレター発行を通じた地域の情報共有・ネットワーク強化</b><br/>         再建した学校のある地域の住民にインタビューし、各学区の抱える教育に関するニーズやその他情報を収集し、ニュースレター第1号及び2号を発行した。ニュースレターは、地域、政府担当官などに配布した。(ニュースレター添付。配布先は“別添リスト3”参照)</p>   |     |     |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
|---------------------------------|--|-----|-----|--|-----|-----|-----|-------------|----|----|----|-------------|-----|-----|----|-------------------|----|-----|----|---------------|-----|-----|----|--------------|----|-----|----|-----------|----|-----|----|--------------------|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|
| <p>(3)<br/>         達成された効果</p> | <p>期待される効果として、(イ)校舎再建を通じた基礎教育の提供 (ロ) 公的教育制度における教育環境の整備 (ハ) 教師及び地域社会における意識啓発と能力向上及びネットワーク強化を掲げた。</p> <p><b>(イ) 校舎再建を通じた基礎教育の提供</b><br/>         2005年の震災で倒壊したままとなっていた学校のうち7校の校舎を再建し、青空教室や、破損したテントでの就学を余儀なくされていた5～11歳の児童942名が、耐震性に優れた校舎において基礎教育を享受できるようになった。</p> <p>校舎不在のためドロップアウトが増えていたが、7校を再建することにより、生徒数の上昇をみており、より多くの児童に基礎教育が提供できるようになった。特に女子は、文化的に他人の目に触れることが良しとされないため、両親が子どもを校舎のない学校には送りたがらないというケースが散見された。しかしながら、新しく校舎が建設されたことにより、こうした両親の懸念を取り払い、より多くの児童が基礎教育へアクセスできるようになった。</p> <p>再建前と再建後の生徒数</p> <table border="1" data-bbox="427 1099 1362 1509"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">生徒数</th> <th rowspan="2">増加数</th> </tr> <tr> <th>再建前</th> <th>再建後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GGPS Dungle</td> <td>12</td> <td>85</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>GPS Narbeer</td> <td>100</td> <td>146</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>GGPS Malyer Banda</td> <td>70</td> <td>122</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>GPS Nika Pani</td> <td>120</td> <td>164</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>GGMS Junglan</td> <td>40</td> <td>107</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>GPS Bhusa</td> <td>70</td> <td>127</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>GGPS Khachci Khaki</td> <td>120</td> <td>191</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>550</td> <td>942</td> <td>392</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、生徒からも「今までは校舎もなく、学校に来ると洋服が汚れてしまったけれど、新しい校舎は清潔できれいで制服が汚れなくてうれしい。新しい校舎ならば毎日来続けることができる。」などの声が寄せられており、リテンション率の向上にもつながっている。</p> <p><b>(ロ) 公的教育制度における教育環境の整備</b><br/>         前述の通り、再建した校舎には、校門、標識、トイレ、水タンク（もしくは井戸）<sup>6</sup>、浄水層、擁護壁、花壇、啓発ポスターを整備したほか、教師及び生徒用の机と椅子、資料棚等を整備した。これにより、より整った環境で児童が就学できるようになった。特に、トイレや水タンク、井戸等の水回りを整備したことで、安全な水へのアクセスを確保し、衛生面の整備につながったことから、様々な関</p> | 学校名 | 生徒数 |  | 増加数 | 再建前 | 再建後 | GGPS Dungle | 12 | 85 | 55 | GPS Narbeer | 100 | 146 | 46 | GGPS Malyer Banda | 70 | 122 | 52 | GPS Nika Pani | 120 | 164 | 44 | GGMS Junglan | 40 | 107 | 67 | GPS Bhusa | 70 | 127 | 57 | GGPS Khachci Khaki | 120 | 191 | 71 | 合計 | 550 | 942 | 392 |
| 学校名                             | 生徒数  |     | 増加数 |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
|                                 | 再建前  | 再建後 |     |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GGPS Dungle                     | 12   | 85  | 55  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GPS Narbeer                     | 100  | 146 | 46  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GGPS Malyer Banda               | 70   | 122 | 52  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GPS Nika Pani                   | 120  | 164 | 44  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GGMS Junglan                    | 40   | 107 | 67  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GPS Bhusa                       | 70   | 127 | 57  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| GGPS Khachci Khaki              | 120  | 191 | 71  |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |
| 合計                              | 550  | 942 | 392 |  |     |     |     |             |    |    |    |             |     |     |    |                   |    |     |    |               |     |     |    |              |    |     |    |           |    |     |    |                    |     |     |    |    |     |     |     |

<sup>6</sup> 水源がある場合は井戸の整備を行った

連疾病の恐れが軽減された。また、擁壁やトイレがないことが女子児童のドロップアウトの原因の一つとなっていたため、これら施設を整えたことで、女子児童の復学につなげることができた。加えて、停電の多いパキスタンで、停電時にも外からの光を多く取り込めるよう、これまでより大きめの窓枠のサイズを採用した。空調設備の無いなかで、窓を開けての授業をしても、蚊など伝染病の媒体となる虫が入らないよう、窓には網戸を張った。こうしたことにより、安全でより勉学に集中できる環境整備を行うことができた。

**(ハ) 教師及び地域社会における意識啓発と能力向上及びネットワーク強化**

再建された学校にて、よりよい教育が実践されるよう、7校の教師（20名）・PTC（33名）及び生徒会（42名）へ、教育に関しての意識の向上や、教授法などの研修を実施した。研修を通じて、PTC、教師、生徒会の意識とスキルが向上され、より良い教育環境を整備してゆこうという気運が生み出された。教師からは「教育方法が日々進化していることに気付き、今後は自発的に教育方法の向上に努めるべきだと感じた」「研修で学んだ教授法は、教師と生徒間の相互交流を促進し、よりよい教育環境の形成に大変有益である。また良い関係を結ぶことで、よりスムーズに授業を実施することができるようになった」という声が寄せられている

また、PTCは本来、政府の定めた PTC ガイドラインというものが存在し、小額の予算とともに、学校教育において、様々な役割が割り振られていたものの、実際はその役割を認識しておらず、機能していなかったという経緯がある。こうした研修を通じて、自身の役割を自覚したとともに、学校運営にかかる PTC の重要性について認識することができた。研修後、PTC は定期的に会合を開くようになり、学校運営について、必要な介入を行える体制が築かれている。

加えて、各校で6名の生徒代表からなる生徒会の組織化を行い、教育の場における子どもたちのリーダーシップ、積極性、意思決定能力を高め、生徒会に参加する子どもたちが、各学校において他の生徒の良きロールモデルになるよう促した。生徒たちは、目的意識をもって授業に参加するようになっている。加えて、ニュースレターを発行・回覧することで情報の共有を図り、お互いの経験から学び、地域の一体感を促進することができた。

**(4) 持続発展性**

再建した学校は公立学校であり、校舎が不在の間も授業は続けられてきた。政府予算での校舎再建こそ資金めどが立たないが、教師の給料やその他運営費などは、政府の予算が振り分けられている。したがって、移譲したのちも、政府により、学校の管理運営がなされてゆく。

また、今回の研修によって PTC、教師、生徒の意識が向上したことで、よりよい教育環境を地域で見守ってゆく、もしくは学校内部から自発的に働きかけてゆく体制が確立された。特に PTC は、本事業を通じ、本来政府から与えられていた役割尾自覚できたことで、今後今まで果たしてこなかった本来の役割を果たし、地域のより良い教育環境を維持してゆくことが見込まれる。